

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第3週（1月16日～1月22日）

★ お知らせ

○インフルエンザ！更に急上昇！

定点医療機関からの報告が県全体で定点当たり前週の19.52から59.31（警報値：30.00）と急上昇した。また、この値は、新型インフルエンザが流行した平成21～22シーズンの最高値である45.92も超えている。更に学校欠席者情報収集システムにおいて、出席停止報告が前週388名から2,434名と約6倍の増加があった。

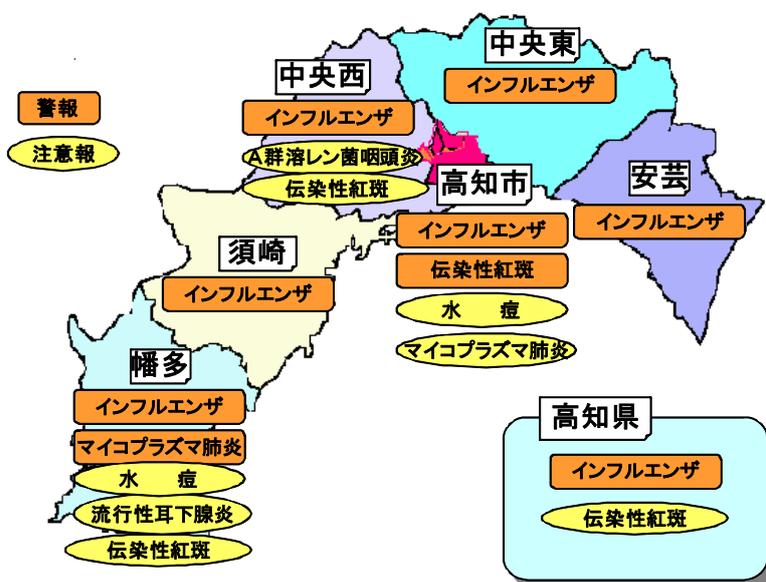
今後、更なる増加が考えられますので、外出後の手洗いやうがいの励行とともに、咳エチケットに心がけるようにお願いします。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↑	59.31	全保健所で増加し警報値を超した。特に幡多、須崎、高知市、中央西で高く、更なる増加が考えられるので注意が必要。
感染性胃腸炎	→	6.40	安芸、中央東、幡多で増加したが、全体では横ばいである。シーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症	→	2.30	高知市以外で増加したが、全体では横ばいである。シーズンなので注意が必要。
水痘	→	1.83	中央東を除き増加したが、全体では横ばいである。幡多、高知市で注意報値を超した。シーズンなので注意が必要。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.33	中央西、中央東、幡多で増加したが全体では横ばいである。中央西で注意報値を超した。シーズンなので注意が必要。

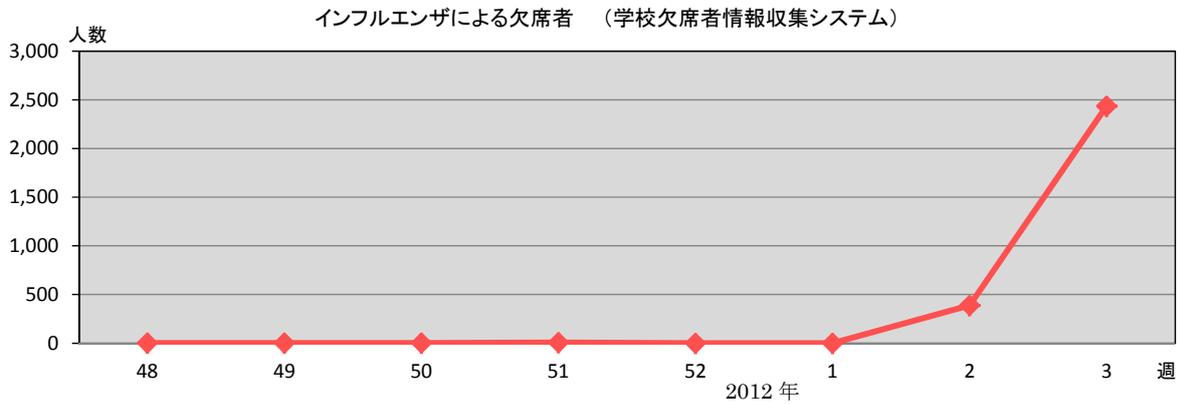
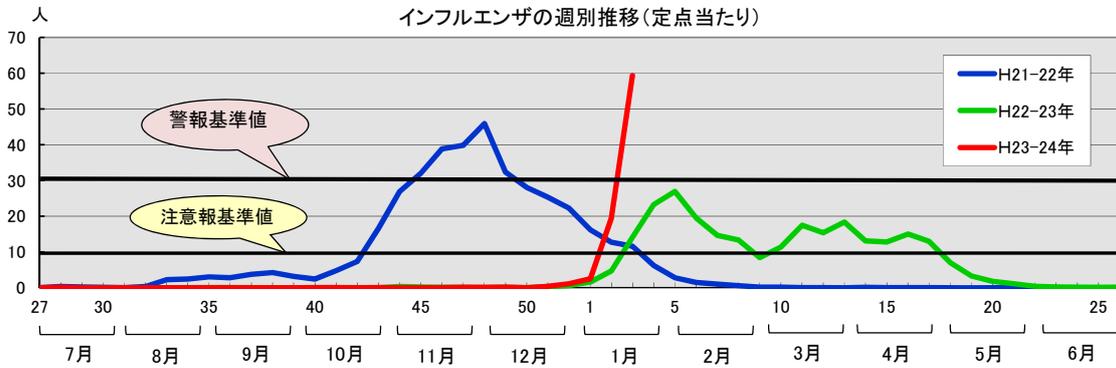
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

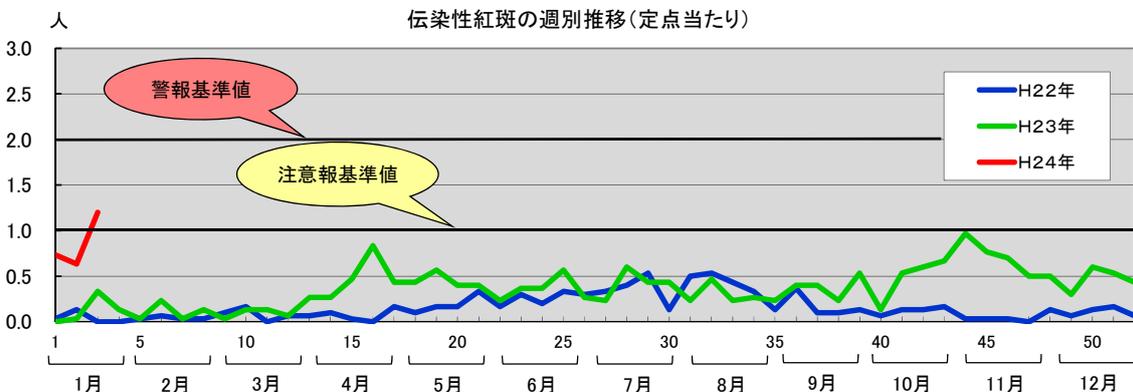
○ インフルエンザ：59.31（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告が急増し定点当たり 59.31 と大幅に警報値を超した。保健所ごとでも、幡多 75.50、須崎 71.00、高知市 70.50、中央西 68.40、中央東 33.18、安芸 31.00 と全てで警報値を超した。また、病原体定点から搬入された検体からは Influenza virus A H3(A 香港型) が 15 検出されている。今後更なる増加が考えられるので、外出後の手洗いやうがいの予防対策を行うとともに、咳エチケットにも心がけて欲しい。



○ 伝染性紅斑：1.20（注意報値：1.00 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告は約 2 倍増加し、県全体で 1.20 と警報値を超した。保健所ごとには、高知市では定点当たり 2.00 と警報値を超し、中央西 1.67、幡多 1.20 と注意報値を超した。疫学調査ではほぼ 5 年ごとの流行周期があり、1 月から 7 月にかけて増加する。直近では平成 19 年に年間 1,000 例を超える流行が見られた。今後の推移に注意が必要です。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	インフルエンザ	11歳	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	9歳	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	7歳	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	17歳	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	5歳	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	10歳	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	6歳	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	6歳	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	1歳	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	11歳	女	高幡	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	4歳	女	高幡	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	13歳	男	高幡	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	10歳	女	高幡	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	3歳	男	高幡	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	5歳	男	幡多	Influenza virus A H3 NT
3	マイコプラズマ肺炎	13歳	男	高幡	Bordetella pertussis
3	マイコプラズマ肺炎	15歳	女	高知市	Mycoplasma pneumoniae
3	マイコプラズマ肺炎	5歳	男	高幡	Mycoplasma pneumoniae

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	感染性胃腸炎	10ヵ月	男	高知市	Norovirus GII NT
2	感染性胃腸炎	10歳	男	高知市	Norovirus GII NT
2	感染性胃腸炎	3歳	男	中央東	Norovirus GII NT
2	感染性胃腸炎	2歳	女	幡多	Salmonella Infantis
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7歳	男	高知市	Streptococcus pyogenes T12
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳	男	高幡	Streptococcus pyogenes T25

★ インフルエンザ迅速検査結果

保健所	検査数	A	B	A+B
安芸	206	122	1	
中央東	478	260	29	2
高知市	1,663	1,094	10	
中央西	540	341	1	
須崎	431	265	3	
幡多	798	575	2	
計	4,116	2,657	46	2

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
5類	ウイルス性肝炎	5	5	80歳代(男)	中央東

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ感染症 2例 (11、37歳) 性器ヘルペス 1例 (9歳女)
高知市	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎 1例 (11歳女) 百日咳 1例 (39歳男) 溶連菌感染症とインフルエンザの同時感染 1例 (34歳男)
	細木病院小児科	ロタウイルス 1例 (2歳男)
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2例 (10、11歳女) 病原性大腸菌 O-18 1例 (50歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルペス性歯肉口内炎 2例 (1歳男女)
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 1例 (11歳女)
須崎	もりはた小児科	第2週 マイコプラズマ肺炎 1例 (5歳男)、百日咳 1例 (13歳男)
幡多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1例 (4歳男)

★ 全国情報

第1週 (1/2～1/8)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核169例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症7例（有症者1例、うちHUSなし）、
パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎1例、つつが虫病15例、デング熱1例、レジオネラ症10例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、後天性免疫不全症候群8例（AIDS 3例、無症候3例、その他2例）、梅毒7例、破傷風2例、風しん2例、
麻しん4例

報告遅れ：パラチフス1例、日本紅斑熱4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

◆インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱（38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。近年、抗インフルエンザウイルス薬が広く臨床現場で用いられるようになり、発症後早期から投与されることによって従来よりも有熱期間が短縮している例も少なくない。インフルエンザの主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている。感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生の徹底が重要であると考えられるが、たとえインフルエンザウイルスに感染しても、全く無症状の不顕性感染例や臨床的にはインフルエンザとは診断し難い軽症例が存在する。従って、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においてインフルエンザの集団発生をコントロールすることは困難であると思われる。2009年4月に発生した新型インフルエンザは、2011年4月以降はインフルエンザ（H1N1）2009と呼ばれるようになり、他のA/H3N2（A香港）亜型やB型のインフルエンザと同様にヒト-ヒト間で流行する季節性インフルエンザ対策の中に組み込まれることとなった。感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所（小児科定点約3,000、内科定点約2,000）のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は、2011年第42週以降増加が続いており、2012年第1週の定点当たり報告数は3.76（報告数18,341）となった。都道府県別では岐阜県（16.60）、愛知県（16.22）、三重県（15.17）、香川県（9.35）、滋賀県（8.85）、沖縄県（8.40）、宮城県（7.98）、岡山県（7.79）の順となっている。25都府県で前週の定点当たり報告数よりも増加がみられた。定点医療機関からの報告数をもと

に、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診したインフルエンザ患者数を推計すると、2012年第1週は23万人（95%信頼区間：21～25万人）（暫定値）となり、前週（17万人）よりも更に増加した。年齢群別では30～39歳約4万人（17.4%）0～4歳、20～29歳、40～49歳がそれぞれ約3万人（13.0%）の順であり、20歳以上の成人層が65.2%と多くを占めている。これは学校、幼稚園等の大半の小児の集団生活施設が冬季休暇期間中であったことも影響していると思われる。2012年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は74万人（95%信頼区間：71～77万人）（暫定値）であった。2011年第36週～2012年第1週に国内では538検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が2件（0.4%）、AH3亜型（A香港型）487件（90.5%）、B型49件（9.1%）とAH3亜型が大半を占めている状態が続いている。冬季休暇中であったにもかかわらず、2011年第52週、2012年第1週とインフルエンザの患者報告数、推計受診患者数は増加が続いた。冬季休暇が終了した1月中旬以降に、AH3亜型を中心としたインフルエンザの流行は本格化してくる可能性が高い。今後ともインフルエンザの発生動向には注意が必要である。

高知県感染症情報（58定点医療機関）

		第3週 平成24年1月16日(月)～平成24年1月22日(日)							高知県衛生研究所					
定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計) H24/1/2～H24/1/22	全国(2週末累計) H24/1/2～H24/1/15	
内科・小児科	インフルエンザ		124	365	1,128	342	284	604	2,847 (59.31)	937 (19.52)	36,056 (7.33)	3,903 (81.31)	54,411 (11.15)	
	咽頭結膜熱				1				1 (0.03)	2 (0.07)	735 (0.23)	3 (0.10)	1,560 (0.50)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			10	14	8	3	5	40 (1.33)	40 (1.33)	4,741 (1.51)	104 (3.47)	7,829 (2.51)	
	感染性胃腸炎		20	29	76	22	4	41	192 (6.40)	173 (5.77)	30,979 (9.87)	562 (18.73)	53,807 (17.28)	
	水痘		1	2	25	5	3	19	55 (1.83)	33 (1.10)	6,838 (2.18)	138 (4.60)	14,665 (4.71)	
	手足口病			2	1				3 (0.10)	1 (0.03)	545 (0.17)	5 (0.17)	1,171 (0.38)	
	伝染性紅斑			2	22	5	1	6	36 (1.20)	19 (0.63)	784 (0.25)	77 (2.57)	1,332 (0.43)	
	突発性発疹		2	1	5			1	9 (0.30)	11 (0.37)	1,790 (0.57)	30 (1.00)	2,895 (0.93)	
	百日咳				1				1 (0.03)	1 (0.03)	70 (0.02)	4 (0.13)	112 (0.04)	
	ヘルパンギーナ			1			1		2 (0.07)	1 (0.03)	56 (0.02)	3 (0.10)	109 (0.04)	
	流行性耳下腺炎			4		1			11 (0.37)	37 (1.23)	2,160 (0.69)	91 (3.03)	4,328 (1.39)	
	RSウイルス感染症		2	13	32	4	7	11	69 (2.30)	53 (1.77)	2,166 (0.69)	197 (6.57)	4,618 (1.48)	
	眼科	急性出血性結膜炎										8 (0.01)	(0.00)	16 (0.02)
		流行性角結膜炎										404 (0.60)	1 (0.33)	811 (1.21)
基幹	細菌性髄膜炎										5 (0.01)	(0.00)	11 (0.02)	
	無菌性髄膜炎										17 (0.04)	(0.00)	28 (0.06)	
	マイコプラズマ肺炎				6			2	8 (1.14)	1 (0.14)	428 (0.92)	13 (1.86)	948 (2.06)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										13 (0.03)	(0.00)	24 (0.05)	
計 (小児科定点当たり人数)			149 (43.50)	429 (42.32)	1,311 (86.59)	387 (83.40)	303 (80.50)	695 (93.30)	3,274 (73.28)					
前週 (小児科定点当たり人数)			43 (14.50)	186 (19.19)	427 (31.68)	153 (36.73)	123 (35.50)	377 (52.30)		1,309 (31.89)	87,795	5,131 (121.78)	148,675	

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報（58定点医療機関）定点当たり人数

		第3週												
定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計) H24/1/2～H24/1/22	全国(2週末累計) H24/1/2～H24/1/15	
内科・小児科	インフルエンザ		31.00	33.18	70.50	68.40	71.00	75.50	59.31	19.52	7.33	81.31	11.15	
	咽頭結膜熱				0.09				0.03	0.07	0.23	0.10	0.50	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.43	1.27	2.67	1.50	1.00	1.33	1.33	1.51	3.47	2.51	
	感染性胃腸炎		10.00	4.14	6.91	7.33	2.00	8.20	6.40	5.77	9.87	18.73	17.28	
	水痘		0.50	0.29	2.27	1.67	1.50	3.80	1.83	1.10	2.18	4.60	4.71	
	手足口病			0.29	0.09				0.10	0.03	0.17	0.17	0.38	
	伝染性紅斑			0.29	2.00	1.67	0.50	1.20	1.20	0.63	0.25	2.57	0.43	
	突発性発疹		1.00	0.14	0.45			0.20	0.30	0.37	0.57	1.00	0.93	
	百日咳				0.09				0.03	0.03	0.02	0.13	0.04	
	ヘルパンギーナ			0.14			0.50		0.07	0.03	0.02	0.10	0.04	
	流行性耳下腺炎			0.57		0.33		1.20	0.37	1.23	0.69	3.03	1.39	
	RSウイルス感染症		1.00	1.86	2.91	1.33	3.50	2.20	2.30	1.77	0.69	6.57	1.48	
	眼科	急性出血性結膜炎										0.01	(0.00)	0.02
		流行性角結膜炎										0.60	0.33	1.21
基幹	細菌性髄膜炎										0.01	(0.00)	0.02	
	無菌性髄膜炎										0.04	(0.00)	0.06	
	マイコプラズマ肺炎				1.20			2.00	1.14	0.14			2.06	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.03	(0.00)	0.05	
計 (小児科定点当たり人数)			43.50	42.32	86.59	83.40	80.50	93.30	73.28					
前週 (小児科定点当たり人数)			14.50	19.19	31.68	36.73	35.50	52.30		31.89		121.78		

咳エチケットを守りましょう！

- ◆ 咳やくしゃみなどの呼吸症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
 - ◆ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
 - ◆ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
 - ◆ 咳やくしゃみをした後は、石けんを使用して、よく手を洗いましょう。
-

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869